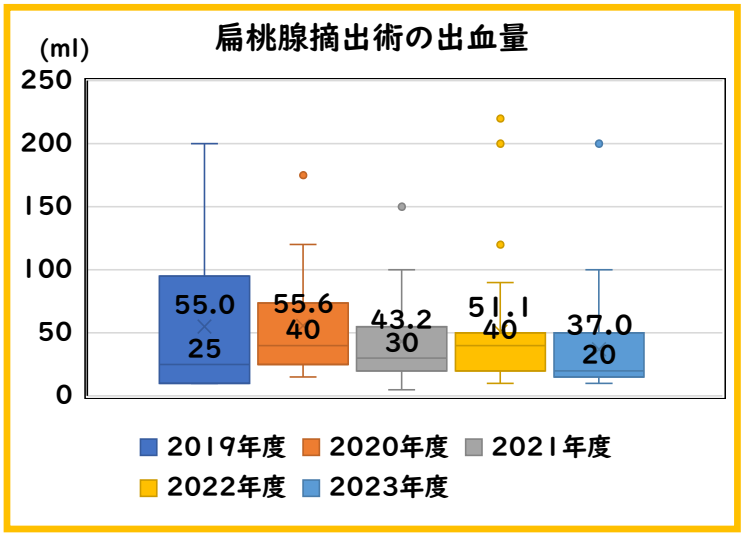
# 24 扁桃摘出術の平均出血量と術後合併症(後出血)

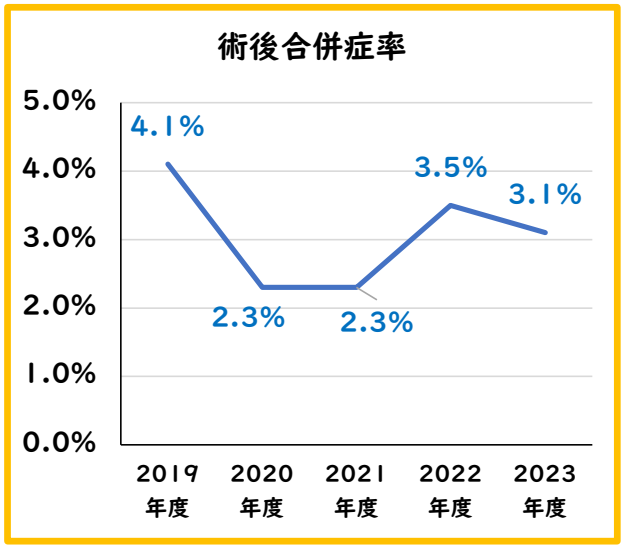
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## ◆解説◆

口蓋扁桃摘出術は耳鼻咽喉科領域において頻度の高い手術です。本手術の合併症の中でも術後出血は、最も一般的な合併症であり、場合により再手術による止血処置が必要となる最も注意が必要な合併症の1つです。出血量と術後合併症が少ないことは、安全に手術が行われていることを示す臨床指標と考えます。

## ◆当院の実績◆




※数値は、平均値（小数点第1位表示）と中央値を表示しています。

## ◆自己点検評価◆

2023年度の術中平均出血量は、2022年度と比較して減少しており、術後合併症の割合も低下傾向にあります。
2023年度では、当科に入局した専攻医が少なく　（1人）、扁桃摘出術における上級医の指導が十分に徹底されていることと、内視鏡での指導を開始しているための可能性が示唆されます。今後も内視鏡などを併用しつつ、適切な手術術式を指導いたしたいと存じます。
今後も継続して経過を見て参りたいと思います。

## ◆定義◆

病名：慢性扁桃炎のうち口蓋扁桃手術を行った症例の出血量(平均)と後出血の病名がついた症例の割合